

学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進	A%	B%	A+B%	R7①
(児) あいさつ、きまりなど学校・家庭・地域で学んだことを、様々な場所で生かしている。	47.3	46.4	93.8	85.2
(保) 学校は、学校だよりや学校HPでの配信、学校行事等の実施などにより、教育活動の様子について適切に情報提供している。	55.7	42.5	98.1	95.7
(職) 学校の教育活動や児童の様子について、保護者や地域にわかりやすく伝えるときともに、保護者や地域から情報を得ることで、相互理解を図っている。	44.4	55.6	100	100
(児) 授業などで地域の人の話を聞いたり、一緒に学んだりすることを通して、学びを楽しんでいる。	60.7	31.3	92.0	94.4
(保) 学校は、保護者や地域の意見を大切にしている。	50.9	44.3	95.3	92.2
(保) 学校は、こどもたちに地域等の教育活動へ積極的に参画する機会を設定している。	55.2	40	95	93.9
【情報発信】 ・ 日々の様子をHPで配信 ・ 学校だよりを地域に回覧 ・ 学校だよりにより地域との関わりを紹介する記事を毎月掲載  【家庭との連携の場】 ・ 学校と家庭をつなぐ会（年度始め） ・ 学級懇談会（毎学期） ・ 道徳の日（毎学期） ・ PTA活動（奉仕作業） 【学習】 ・ 地域探検（公共施設、地域の様子） ・ 地域の方に話を聞く（芝富こども未来会議） ・ 保護者を講師とした授業 ・ 学校ボランティアの活用（6年防災、5年稲作、4年福祉、3年芝富の自まん） ・ 体験活動（稲刈り、たけのこ掘り）				

学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進については、こども・保護者・教職員の9割以上が「各項目ができています」と感じていることが分かった。また、3年生以上が取り組んでいるドリム学習では、多くのこどもたちが楽しみながら課題を追究する姿が見られた。地域の方に学習に関わっていただいたことで、体験を通じた学びや具体的な話を聞く機会が得られ、教科書やインターネットだけでは得られない知識や気付きがあり、こどもたちの学びはより深まり、充実したものとなっている。今後も家庭や地域との連携を一層図っていきたい。